



最近の動物公園

マーコール・ホンシュウジカの出産時期に加え、ヤギ・ロバ・フンボルトペンギン・テンジクネズミ・オグロプレーリードッグ・チリーフラミンゴの搬入、バックヤードでのテンジクネズミの繁殖、フンボルトペンギンの搬出があり、動物の出入りが続きました。園内掲示やX等で新顔の紹介も行っていますが、是非直接会いに来てください。



ヤギ



テンジクネズミ



チリーフラミンゴ



オグロプレーリードッグ



フンボルトペンギン



マーコール

第20回 秋の動物園まつりのお知らせ

秋の動物園まつりのお知らせです。

- ★日時：令和7年11月3日（月・祝）午前10時～午後3時まで
- ★内容：キーパーズトーク、バックヤードツアー（要整理券・抽選）、マーコール餌やり体験（先着）等
- ★荒天中止。その他、天候や感染症発生状況、動物の体調等により内容が変更になる場合があります。
- ★当日は動物公園の駐車場は使えません。公共交通機関にてお越しください。



コモンマーモセット

*公式 Twitter(X)はこちらから→



*公式 Facebook ははこちらから→



★園内工事についてお知らせ

駐輪場・ベビーカー置き場が新設されました。また、4か所に分散した臨時駐輪スペース（ホームページ、X、園内に掲示の地図参照）もご利用いただけます。トイレはパークセンター内・小動物コーナー・慰霊塔前広場にてご利用いただけます。新しい東側トイレが供用開始になりました。

★ピックアップ動物★

ロバ

哺乳綱 奇蹄目 ウマ科

アフリカノロバを家畜化した小型のウマの仲間で、ウマよりシマウマに近い種です。体は小さいものの、頑強で力が強く持久力があり、乳用・肉用の他、荷物の運搬などに使役されています。ある程度はヒトの指示に従いますが、頑固な性格の個体が多いように感じます。

昨年メスのカグヤが亡くなりグラウンドが寂しくなっていました。このたびオスのバロンが仲間入りしました。現在3歳で元気いっぱい、木に吊るしたボールで一人遊びをしたり、グラウンドを走り回ったり、引き馬でバックヤードの長めの散歩を楽しんだり、持て余すエネルギーをなるべく発散させるよう職員も奮闘しています。好奇心が旺盛で、人間のことが好きなようです。

職員もバロンも、お互いの性格・性質や環境に慣れるのにまだ少し時間がかかりそうですが、ゆっくりしっかり関係を築いていければと思います。



獣医の日記

春から初夏にかけて、気温が上がり多くの生物が活発になると、日本の野生動物も出産・産卵、子育てを始めるものが多くなってきます。それに伴い、動物園に野生動物を持ち込みたいという相談が急増します。鳥の場合はまだ上手に飛べなくても巣を出て（いわゆる巣立ち）完全に自立するまで親が面倒を見る期間があるのですが、これを「飛べない鳥がいた、弱っているのかもしれない」と誘拐してしまう事例が本当に多いです。タヌキの赤ちゃんを親が草むらなどに隠しながら1頭ずつ引っ越しさせている最中に見つけて誘拐されることもしばしばあります。また「カラスや猛禽に襲われていた」と、襲っている方も野生動物で生きるために狩りをしていたのに、わざわざその邪魔をして襲われていた方の動物を連れてくる人もいます。

さらには、「近所にヘビがいた」「ハクビシンが歩いていた」との相談まで来ます。ここは人間だけの土地ではありません。野生生物が暮らしている土地に人間がお邪魔している場合も、人間が暮らす土地に野生生物が適応して生きている場合もあります。

今に始まったことではありませんが、動物ひいては自然と人間の距離感が危うくなっている、そもそも人間は自然の一部ではなかったか…と悶々と思案する季節です。

★動物たちの主な移動(令和7年5月1日～令和7年7月31日)★

コバタン(♀1死亡)、マーコール(♂4♀3繁殖)、テンジクネズミ(♂1♀1繁殖、♂1搬入、♀1死亡)、ハクビシン(♀1死亡)、ヤギ(♂1♀2搬入)、フンボルトペンギン(♂2搬入、♀4搬出、♂1死亡)、ホンシュウジカ(♀2繁殖)、オグロプレーリードッグ(♀1搬入)、チリーフラミンゴ(♂1♀1搬入)、ロバ(♂1搬入)、キエリボウシインコ(性別不明1死亡)、ハイイロコジャク(性別不明1孵化)